

申込方法 往復はがき記入要領・記入例

返信用(おもて)に、あなたの〒・住所・氏名を書き、返信用(うら)には何も書かないでください。
 往信用(うら)に次の①～⑥をお書きください。

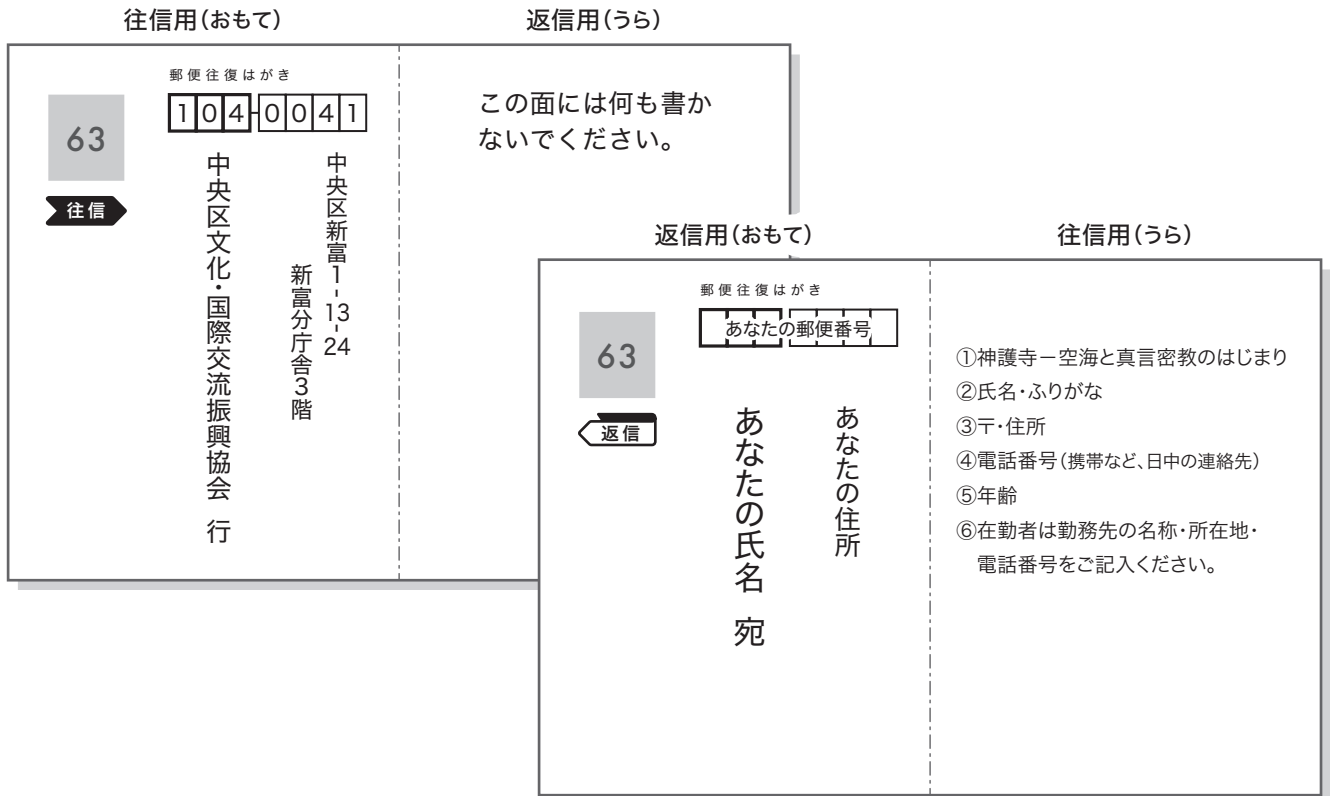
- ① 神護寺—空海と真言密教のはじまり
- ② 氏名・ふりがな
- ③ 〒・住所
- ④ 電話番号
- ⑤ 年齢
- ⑥ 在勤者は勤務先の名称・所在地・電話番号

※申し込みは、往復はがき1枚につき、お一人となります。料金不足の往復はがきは返却します。

また、申し込み要件不備・重複申し込み・必着日を過ぎた申し込みは無効となります。

※車いすや歩行器等使用されている方はその旨も記載してください。

介助者についても別途申し込みが必要です。



申し込み期限 令和6年7月4日(必着)

※郵便事情を考慮して、はがきの投函はお早めをお願いします。



日本橋社会教育会館 アクセス

- 地下鉄**
 - **人形町** 徒歩約4分
都営浅草線(A6)・東京メトロ日比谷線(A2)
 - **水天宮前** 徒歩約5分
東京メトロ半蔵門線(8番出口)
- 都バス**
 - **水天宮前** 徒歩約5分
- 江戸バス(コミュニティバス)**
 - **人形町駅** 徒歩約2分

※日本橋公会堂改修工事のため社会教育会館ホールで行ないます。

東京国立博物館 創建1200年記念 特別展

神護寺-空海と真言密教のはじまり

関連文化講演会

令和6年7月17日から東京国立博物館で開催される創建1200年記念 特別展「神護寺-空海と真言密教のはじまり」に関連する文化講演会を、NHKと共催で実施します。

京都市の北西部、高雄に所在する神護寺は、紅葉の名所として古くから知られてきました。天長元年(824)、高雄山寺と神願寺というふたつの寺院がひとつになり、神護国祚真言寺(神護寺)が誕生します。高雄山寺は平安遷都を提案した和気清麻呂の氏寺で、唐で密教を学んだ空海が帰国後、活動の拠点とした寺院です。国宝「灌頂曆名」や国宝「両界曼荼羅(高雄曼荼羅)」は、空海に直接関わる作品としてあげられます。また、神護寺の前身寺院にまつられていた国宝「薬師如来立像」は、平安初期彫刻の最高傑作で、寺外での公開は神護寺史上初めてのことです。本展は、空海と真言密教のはじまりの地、神護寺に伝わる寺宝の数々をご紹介しますまたとない機会です。1200年を超える歴史の荒波を乗り越え伝わった、貴重な文化財をご覧いただける本特別展の見どころをご紹介します。

日時

令和6年7月29日(月)

午後6時50分開演(午後6時10分開場)

会場

日本橋社会教育会館ホール
中央区日本橋人形町1-1-17

対象

区内在住・在勤者

講師

ふるかわ しょういち 東京国立博物館
教育課教育普及室研究員

演題

「神護寺展の見どころ
-創建1200年の軌跡と奇跡-」

定員

200名(自由席)※申込多数の場合は抽選

参加費

無料

主催

中央区文化・国際交流振興協会/NHK

申込方法

7月4日(木)(必着)までに、往復はがきに
必要事項をご記入の上、お申し込みください。
※詳細は裏面参照

講演会受講者には、本特別展の招待券を一人1枚
差し上げます。

申込・問合せ先 中央区文化・国際交流振興協会

〒104-0041 中央区新富1-13-24 新富分庁舎3階

電話: 03(3297)0251 HP: <https://www.chuo-ci.jp/>



【会期】令和6年7月17日(水)~9月8日(日)

【開館時間】午前9時30分~午後5時

※金曜・土曜は午後7時まで(ただし8月30日・31日は除く)

※入館は閉館の30分前まで

【休館日】月曜日、8月13日(火)

※ただし、8月12日(月・休)は開館

【会場】東京国立博物館 平成館

●入場に関する制限など、詳しくは
展覧会公式サイトをご覧ください

<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/jingoji/>

